

# 企業景況調査報告書

(平成23年1～3月期)



4/24 桜杯争奪相撲選手権大会

## < 目次 >

調査の概要・調査結果概要	.....1
質問2 (直面している経営上の問題点)	.....2
質問3 (講じている経営改善対策)	.....2
質問4 (平成23年度採用状況)	.....3
質問5 (震災による事業活動への影響)	.....4～5
集計結果	.....6～10
業況判断DIの推移	.....11
調査票様式	.....12

## 倉吉商工会議所

倉吉市明治町1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

## 倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成23年1～3月)

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業 22 社、製造業 20 社、卸売業 10 社、小売業 22 社、サービス業 18 社、その他8社)
調査方法	各事業所を職員が直接訪問し、聞き取り又は依頼後調査票回収による。
調査時期	平成23年4月の約1ヶ月間
回収状況	88社(回収率88.0%) ※前回(10～12月)84社(回収率84.0%)
調査結果概要	

### 《まとめ》

当地域の業況は収益状況の悪化傾向が強くなっており、予断を許さない状況である。

全業種の業況判断については、前年同期比の好転から悪化を引いたDI値はマイナス幅が更に拡大し、仕入価格の上昇や同業者間の競争激化により経常利益確保が困難な業種が多く見られた。

売上高については建設業およびその他業種の一部で若干の改善傾向が出ているものの、収益状況について大きく悪化を示しており、雇用人員も過剰に転じている。

また、来期の業況判断にかかる見通しについては、全業種でマイナス幅拡大の過去にない厳しい予想が出ており、異例の事態に対処できない悲痛な声が多く聞かれた。

### <今期の状況> ☆業況判断は全業種でマイナス値を示す厳しい状況。

前年同期比では、自社の業況判断▲26.8ポイント(前回値▲20.5ポイント)でマイナス幅が拡大し、全ての業種でマイナス値を示す厳しい内容である。

売上単価では▲25.6ポイント(前回値▲16.8ポイント)、売上高で▲14.1ポイント(前回値▲13.1ポイント)と更なる悪化を示しており、東日本大震災による仕入難、自粛ムード等がマイナス幅拡大の要因に挙げられている。建設業およびその他業種の一部で売上高についてDI値がプラスに振れ、若干の改善はあったものの震災により資材単価の上昇は避けられず、収益状況では建設業▲31.6ポイント(前回値0.0ポイント)、その他▲28.6ポイント(前回値0.0ポイント)と大きく悪化している。

雇用人員については全業種平均で+3.5ポイント(前回値▲5.9ポイント)と不足から過剰に転じ、小規模事業所の慢性的な人手不足を除き、製造業・小売業等では過剰傾向が解消されない傾向にある。

### <来期の見通し> ☆マイナス幅が大きく拡大する過去にない厳しい見通し。

来期(4～6月)見通しでは、自社の業況判断▲61.3ポイント(前回値▲35.0ポイント)となり、全業種で大きく悪化を予想する厳しい見通しとなった。

特に今回は大手資本の参入による同業者間の競争激化、震災の影響による消費落ちがマイナス幅拡大予想の原因となっている。

売上高についても同様に、▲54.1ポイント(前回値▲33.3ポイント)と過去にないマイナス値を示しており、異例の事態に対処できない悲痛な声が多く聞かれた。

※DI値=売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味するものです。

DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

◇業況・採算DI値:(好転)-(悪化)、◇売上DI値:(増加)-(減少)

**質問2 今期直面している経営上の問題点（上位3点を回答）**

震災の影響から「仕入価格の上昇」を挙げた業種が多く見られる。また、小売業では自粛による「消費・需要の停滞」が色濃く出ている。

〔上位項目〕

※（ ）内は今回件数

分類	1位	2位	3位
全業種	売上が増えない(43)	消費・需要の停滞(33)	同業者間による競争の激化(25) 仕入価格の上昇(25) 利益率が上がらない(25)
建設業	仕入価格の上昇(11)	売上が増えない(8) 原材料不足(8)	
製造業	売上が増えない(11)	仕入価格の上昇(7) 消費・需要の停滞(7)	
卸売業	売上が増えない(7)	大手の進出による競争の激化(6)	販売単価、受注単価の低下(5)
小売業	消費・需要の停滞(9)	同業者間による競争の激化(5) 販売単価、受注単価の低下(5) 消費者ニーズの変化への対応(5) 売上が増えない(5)	
サービス業	売上が増えない(10)	利益率が上がらない(7)	同業者間による競争の激化(5) 消費・需要の停滞(5)
その他業種	利益率が上がらない(4)	同業者間による競争の激化(3) 消費・需要の停滞(3)	

**質問3 現在（今後）進めている（いく）経営改善対策（上位3点を回答）**

「売上高増加策」「利益率向上策」「経費削減策」への傾注に変化はないが、製造業では震災の影響により「在庫調整策」がままならない状況が窺える。

〔上位項目〕

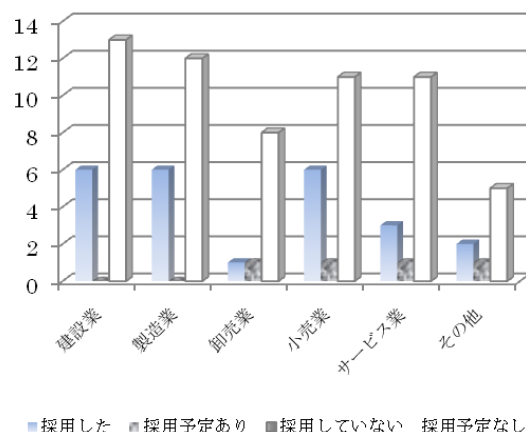
※（ ）内は件数

分類	1位	2位	3位
全業種	売上高増加策(56)	利益率向上策(39)	経費削減策(30)
建設業	売上高増加策(14)	市場競争力強化策(8)	利益率向上策(7)
製造業	売上高増加策(13)	経費削減策(9)	利益率向上策(5) 在庫調整策(5)
卸売業	利益率向上策(7)	売上高増加策(6)	経費削減策(4)
小売業	利益率向上策(9)	売上高増加策(7)	市場競争力強化策(5) 経費削減策(5)
サービス業	売上高増加策(12)	利益率向上策(7)	人材育成策(6)
その他の業種	売上高増加策(4) 経費削減策(4) 利益率向上策(4)		

## 質問 4 新卒者・既卒者の 23 年度採用状況（4 月時点）および採用予定

(単位：社)

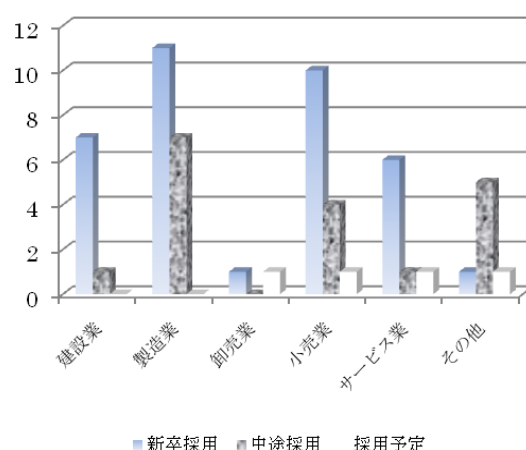
	採用した	採用予定あり	採用していない 採用予定なし
建設業	6	0	13
製造業	6	0	12
卸売業	1	1	8
小売業	6	1	11
サービス業	3	1	11
その他	2	1	5
合計(全体比)	24(27.3%)	4(4.5%)	60(68.2%)



## 平成 23 年度採用人数（4 月時点）および年度中採用予定者数

(単位：人)

	新卒採用	中途採用	採用予定
建設業	7	1	0
製造業	11	7	0
卸売業	1	0	1
小売業	10	4	1
サービス業	6	1	1
その他	1	5	1
合計	36	18	4



<まとめ> 回答数:88 社

### 【4 月時点での採用状況および採用予定】

「採用していない・採用予定なし」と答えた企業が 60 社(68.2%)と大半を占めており、本年度も引き続き厳しい雇用環境にある。

また「採用予定あり」の回答はわずか 4 社(4.5%)にとどまり、アルバイト等に対応する業種も多い。

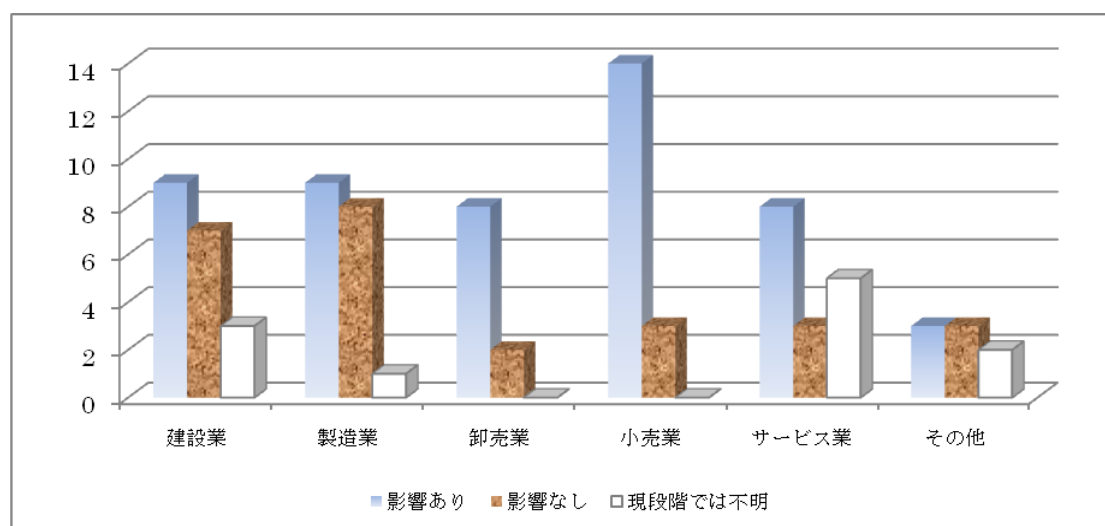
### 【4 月時点での採用者数および年度中採用予定者数】

新卒採用が延べ 36 人(昨年比+26 人)、中途採用が 18 人(昨年比+5 人)と大きく増加が見られ、国の助成制度を活用して雇い入れたとの回答もあった。しかし採用人数が多い業種でも人員は純減傾向であり、業績悪化から積極的な雇い入れが困難な現状が窺える。

## 質問5 東日本大震災による生産・販売等事業活動への影響

〈現時点（平成23年4月）での影響の有無〉 （単位：社）

	影響あり	影響なし	現段階では不明
建設業	9	7	3
製造業	9	8	1
卸売業	8	2	0
小売業	14	3	0
サービス業	8	3	5
その他	3	3	2
合計(全体比)	51(58.0%)	26(29.5%)	11(12.5%)



### 〈影響の具体的内容〉

#### 【建設業】

- ・商品、資材の調達難 8社
- ・仕入単価上昇 1社

#### 【製造業】

- ・商品、資材の調達難 8社
- ・仕入単価上昇 1社
- ・製品等の配送難 1社
- ・生産調整による受注減 1社

#### 【卸売業】

- ・商品、資材の調達難 6社
- ・受注単価下落 1社

#### 【小売業】

- ・商品、資材の調達難 10社
- ・仕入単価上昇 1社
- ・自粛、買い控え等による売上減少 2社
- ・日用品に特需あり 1社

#### 【サービス業】

- ・商品、資材の調達難 2社
- ・自粛、買い控え等による売上減少 1社
- ・予約キャンセル 4社

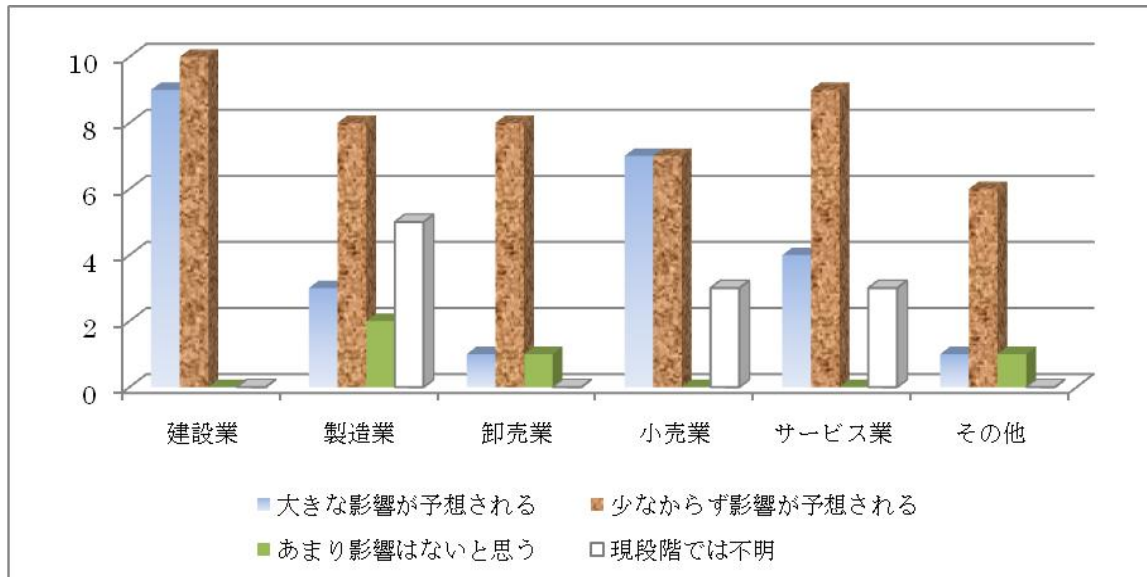
#### 【その他】

- ・商品、資材の調達難 1社
- ・予約キャンセル 1社

<今後の影響について>

(単位：社)

	大きな影響が予想される	少なからず影響が予想される	あまり影響はないと思う	現段階では不明
建設業	9	10	0	0
製造業	3	8	2	5
卸売業	1	8	1	0
小売業	7	7	0	3
サービス業	4	9	0	3
その他	1	6	1	0
合計(全体比)	25(28.4%)	48(54.5%)	4(4.5%)	11(12.5%)



<影響の具体的内容>

<p><b>【建設業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の調達難による完成工事の遅れ 8社</li> <li>・復興地域への集中供給による資材確保難 2社</li> <li>・仕入単価上昇 4社</li> <li>・自粛、買い控え等による売上減少 2社</li> </ul> <p><b>【製造業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品、資材の調達難 4社</li> <li>・仕入単価上昇 2社</li> <li>・生産調整による受注減 1社</li> <li>・復興需要による生産増 1社</li> <li>・自粛、買い控え等による売上減少 1社</li> </ul> <p><b>【卸売業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品、資材の調達難 6社</li> <li>・仕入単価上昇 1社</li> </ul>	<p><b>【小売業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品、資材の調達難 6社</li> <li>・仕入単価上昇 1社</li> <li>・消費需要の停滞 1社</li> <li>・自粛、買い控え等による売上減少 1社</li> <li>・復興地域への集中的予算配分 1社</li> </ul> <p><b>【サービス業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入単価上昇 1社</li> <li>・自粛、買い控え等による売上減少 4社</li> <li>・復興地域への集中的予算配分 1社</li> <li>・予約キャンセル 4社</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品、資材の調達難 1社</li> <li>・仕入単価上昇 1社</li> <li>・復興地域への集中的予算配分 1社</li> </ul>
--	---

## <集計結果>

質問1 DI値集計(前年同期比=23年1~3月期、来期の見通し=23年4月~6月期) ※ DI=Diffusion Index

【製造業・非製造業別】

	イ. 売上高		ロ. 売上単価		ハ. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-14.1	-54.1	-25.6	-25.6	-9.2	-28.4
製造業	-16.6	-50.0	-16.7	-5.5	11.1	-27.8
非製造業	-13.5	-55.1	-27.9	-30.9	-14.5	-28.6

	ニ. 借入難度(含手形割引)		ホ. 収益状況(経常利益)		ヘ. 雇用人員(過剰・適正・不足)	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-4.7	-19.6	-20.7	-53.5	3.5	14.0
製造業	-5.6	-16.7	-22.2	-47.0	22.2	38.9
非製造業	-4.4	-20.3	-20.3	-55.1	-1.5	7.3

	ト. 自社の業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
総合	-26.8	-61.3
製造業	-41.2	-66.6
非製造業	-23.2	-60.0

【業種別】

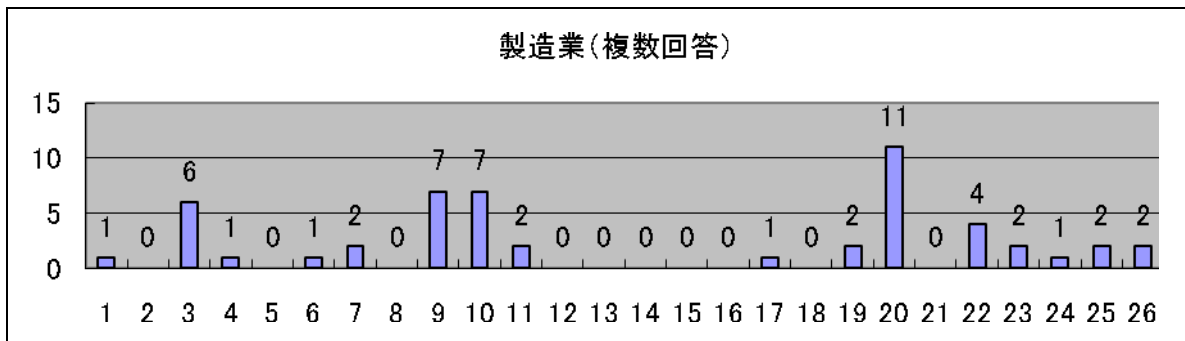
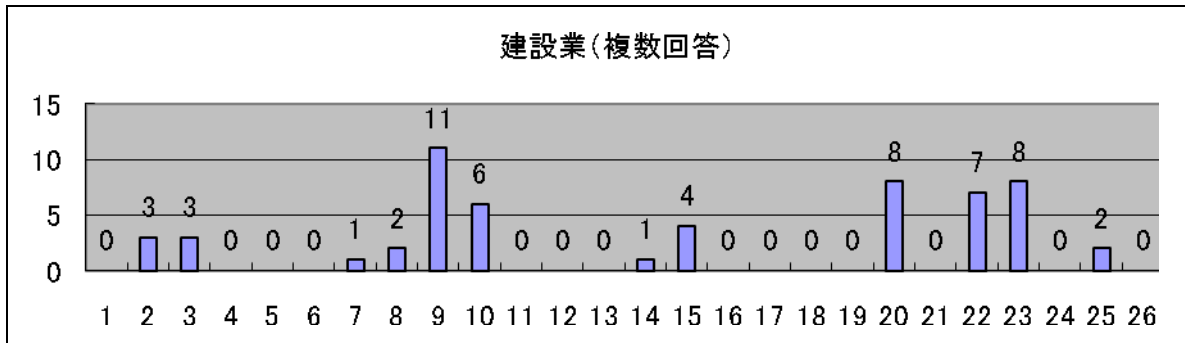
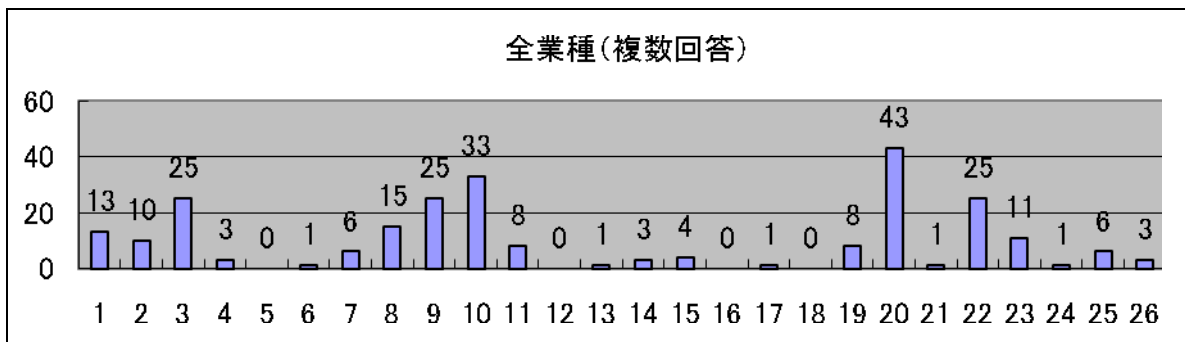
	イ. 売上高		ロ. 売上単価		ハ. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-14.1	-54.1	-25.6	-25.6	-9.2	-28.4
建設業	5.3	-57.9	-36.8	-15.8	-10.6	-36.8
製造業	-16.6	-50.0	-16.7	-5.5	11.1	-27.8
卸売業	-22.3	-77.8	11.1	-33.3	-30.0	-20.0
小売業	-18.8	-47.1	-29.5	-35.3	-17.6	-35.3
サービス業	-43.7	-56.2	-37.5	-43.7	-12.5	-25.0
その他	28.5	-37.5	-28.6	-28.6	0.0	-12.5
非製造業	-13.5	-55.1	-27.9	-30.9	-14.5	-28.6

	ニ. 借入難度(含手形割引)		ホ. 収益状況(経常利益)		ヘ. 雇用人員(過剰・適正・不足)	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
総合	-4.7	-19.6	-20.7	-53.5	3.5	14.0
建設業	0.0	-21.0	-31.6	-68.4	21.1	21.0
製造業	-5.6	-16.7	-22.2	-47.0	22.2	38.9
卸売業	-10.0	-20.0	0.0	-60.0	-20.0	-20.0
小売業	-11.7	-17.6	-17.7	-82.4	17.6	29.4
サービス業	-20.0	-46.6	-18.8	-46.6	-18.7	-6.6
その他	42.9	25.0	-28.6	25.0	-18.8	-6.7
非製造業	-4.4	-20.3	-20.3	-55.1	-1.5	7.3

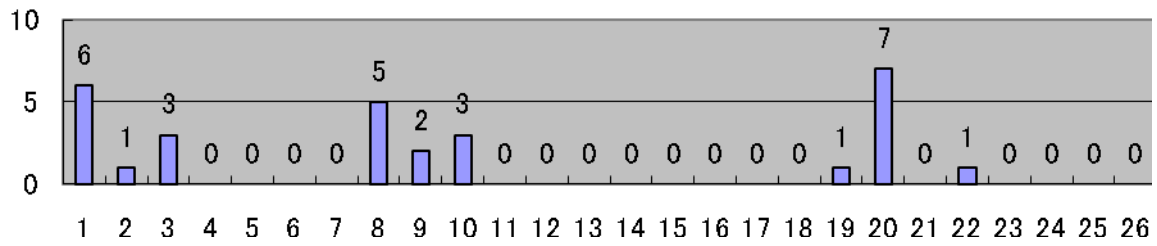
	ト. 自社の業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-26.8	-61.3
建設業	-5.3	-47.4
製造業	-41.2	-66.6
卸売業	-20.0	-80.0
小売業	-35.3	-64.7
サービス業	-37.5	-62.5
その他	-6.2	-25.0
非製造業	-23.2	-60.0

## 質問2 今期直面している経営上の問題点

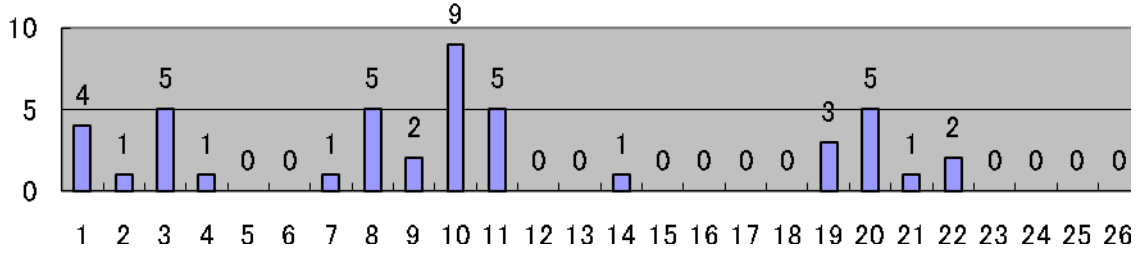
- |                                   |                     |
|-----------------------------------|---------------------|
| 01 大手(大企業・大型店等)の進出による競争の激化        | 14 熟練技術者・技能者の確保難    |
| 02 同業者の進出・新規参入業者の増加による競争の激化(大手以外) | 15 外注・下請け単価の上昇      |
| 03 既存同業者間による競争の激化                 | 16 外注・下請け業者の確保難     |
| 04 店舗・工場(生産設備)・倉庫の不足・老朽化          | 17 金利負担の増加          |
| 05 店舗・工場(生産設備)・倉庫の過剰              | 18 事業資金の借入難         |
| 06 在庫(商品・製品等)の過剰                  | 19 新分野進出等新規事業展開について |
| 07 人件費等の経費の増加                     | 20 売上が増えない          |
| 08 販売単価(商品・製品等)、受注単価の低下・上昇難       | 21 合理化が進まない         |
| 09 仕入価格の上昇(商品・原材料等)               | 22 利益率が上がらない        |
| 10 消費・需要の停滞(民間・官公庁)               | 23 原材料不足            |
| 11 消費者(製品)ニーズの変化への対応              | 24 代金回収条件悪化         |
| 12 過剰労働力                          | 25 資金繰困難            |
| 13 従業員の不足・確保                      | 26 その他:具体的に( )      |



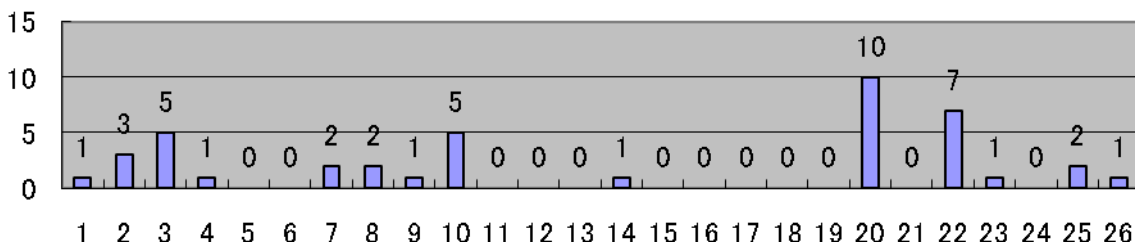
卸売業(複数回答)



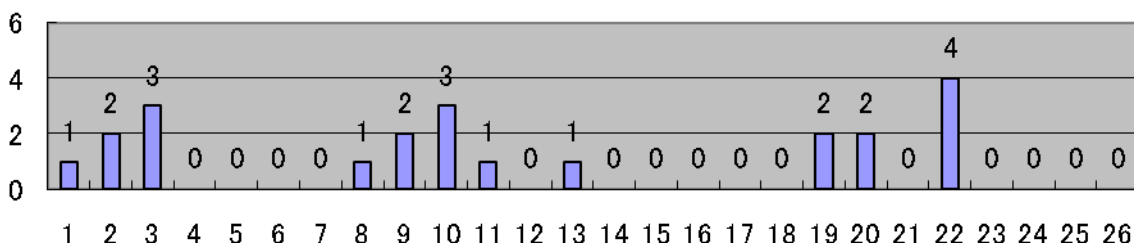
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)

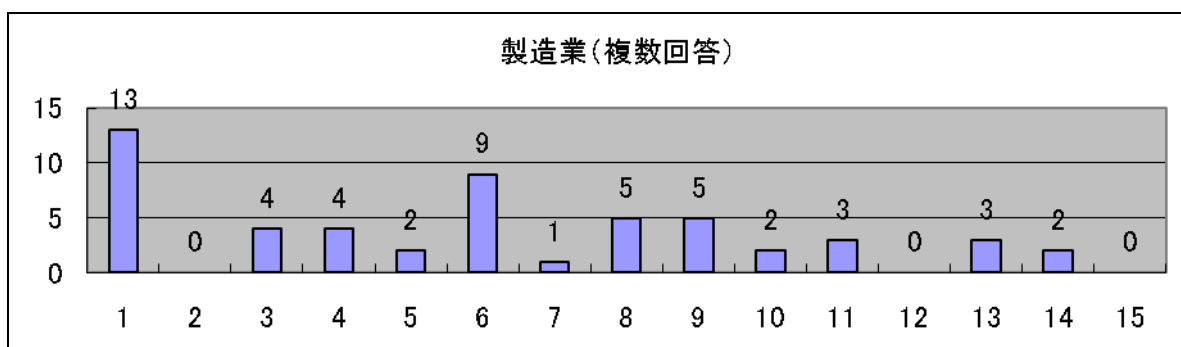
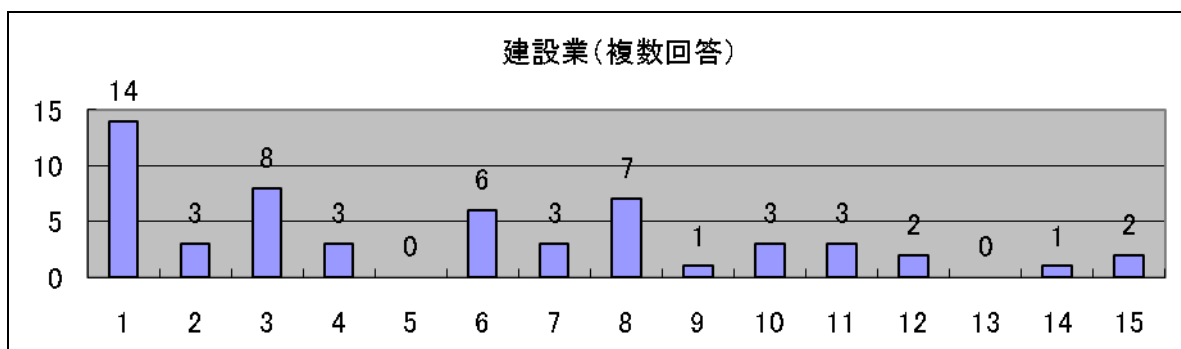
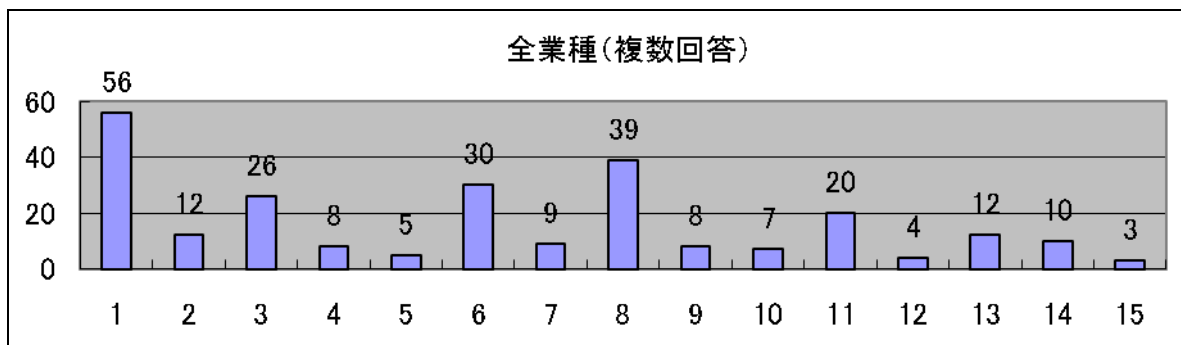


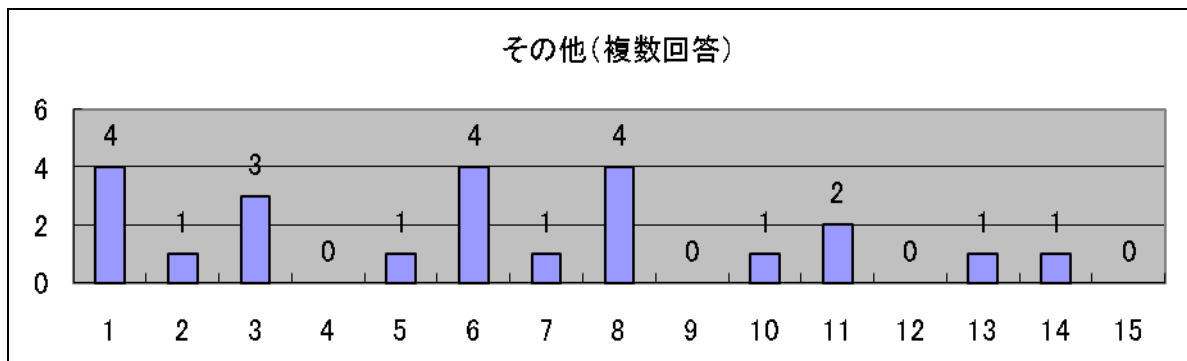
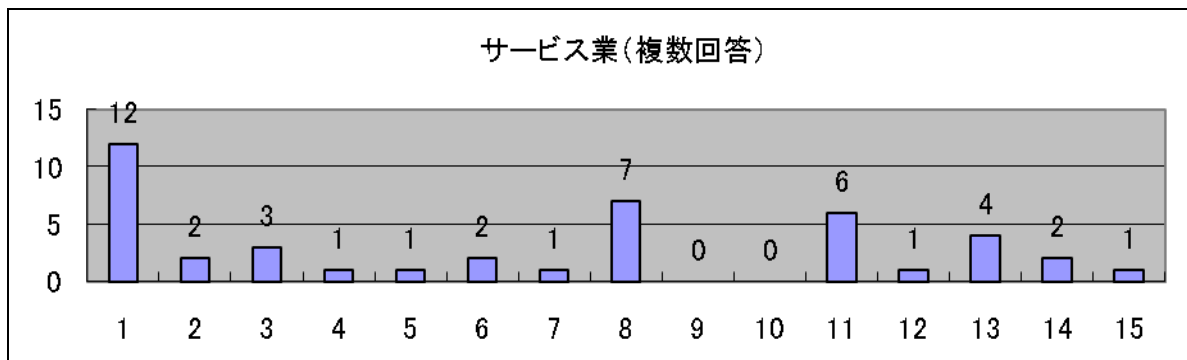
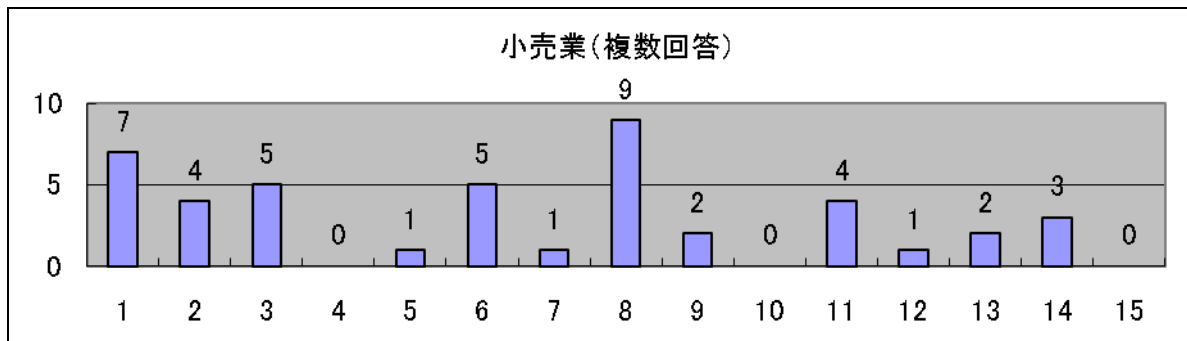
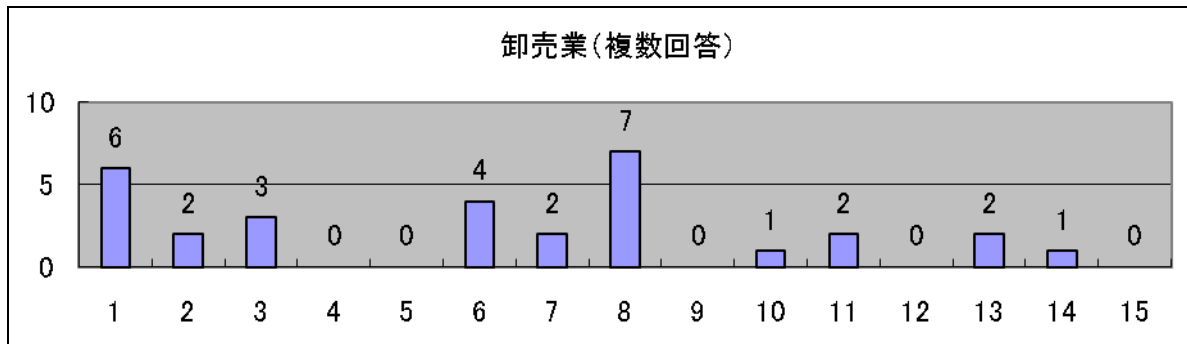
その他(複数回答)



### 質問3 現在（今後）進めている（いく）経営善対策

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| 01 売上高増加策(販売高、製品出荷高、完成工事高等) | 08 利益率向上策    |
| 02 販売単価上昇策                  | 09 在庫調整策     |
| 03 市場競争力強化策                 | 10 仕入単価圧縮策   |
| 04 適正な生産(販売)設備配置策           | 11 人材育成策     |
| 05 適正人員確保策(雇用、整理)           | 12 広告宣伝強化策   |
| 06 経費削減策                    | 13 新商品、新製品開発 |
| 07 資金繰円滑化策(金融)              | 14 新分野事業展開   |
|                             | 15 その他: 具体的  |

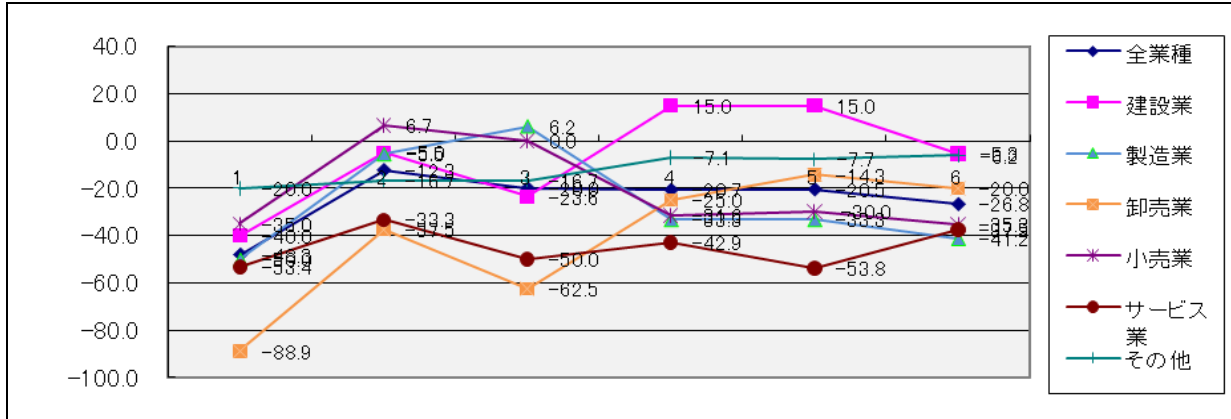




# 業況判断DIの推移

## (1) 前年同期比

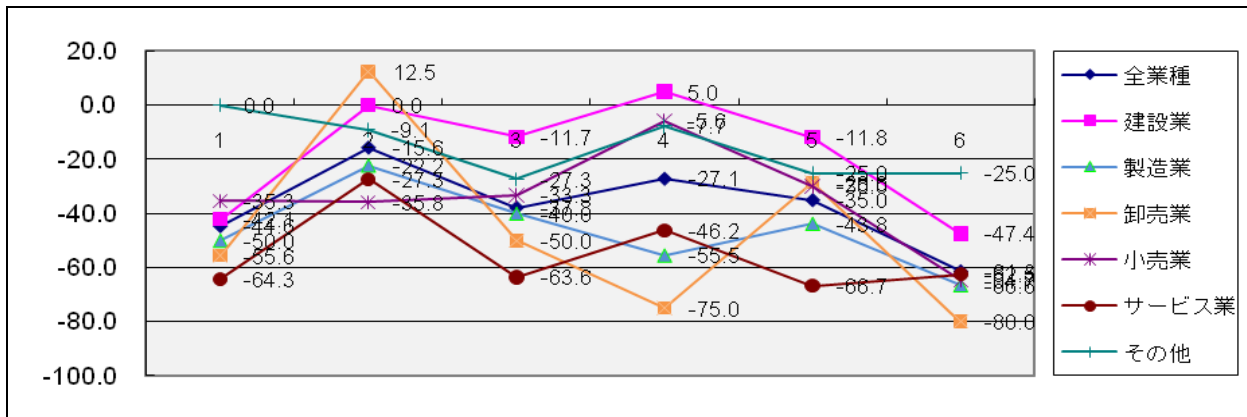
<業種別>



	1	2	3	4	5	6
	H21年10~12月	H22年1~3月	H22年4~6月	H22年7~9月	H22年10~12月	H23年1~3月
全業種	-48.3	-12.3	-20.0	-20.7	-20.5	-26.8
建設業	-40.0	-5.0	-23.6	15.0	15.0	-5.3
製造業	-50.0	-5.5	6.2	-33.3	-33.3	-41.2
卸売業	-88.9	-37.5	-62.5	-25.0	-14.3	-20.0
小売業	-35.0	6.7	0.0	-31.6	-30.0	-35.3
サービス業	-53.4	-33.3	-50.0	-42.9	-53.8	-37.5
その他	-20.0	-16.7	-16.7	-7.1	-7.7	-6.2

## (2) 来期の見通し

<業種別>



	1	2	3	4	5	6
	H22年1~3月	H22年4~6月	H22年7~9月	H22年10~12月	H23年1~3月	H23年4~6月
全業種	-44.6	-15.6	-37.8	-27.1	-35.0	-61.3
建設業	-42.1	0.0	-11.7	5.0	-11.8	-47.4
製造業	-50.0	-22.2	-40.0	-55.5	-43.8	-66.6
卸売業	-55.6	12.5	-50.0	-75.0	-28.6	-80.0
小売業	-35.3	-35.8	-33.3	-5.6	-30.0	-64.7
サービス業	-64.3	-27.3	-63.6	-46.2	-66.7	-62.5
その他	0.0	-9.1	-27.3	-7.7	-25.0	-25.0



## 倉吉商工会議所企業景況調査票

(平成 23 年 1 月～3 月期)

調査元: 倉吉商工会議所(TEL22-2191/FAX22-2193)

事業所名	ご担当者名		記入日	
業種(必須)	従業員数		TEL	

※FAX等でご回答の場合は、①事業所名②ご担当者名③TELの記載については空白のままでも結構です。

<質問1> 前年同期と比較した今期の状況と、今期と比較した来期の見通しについてお尋ねします。該当する番号に○印をお付けください。

項目	今期(23年1月～3月)の状況					来期(23年4月～6月)の見通し				
	前年同期(22年1月～3月)と比べて					②今期と比べた来期の見通し				
イ. 売上高(完成工事高・請負工事高等)	1.増加	2.やや増加	3.不変	4.やや減少	5.減少	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化
ロ. 売上単価(商品・加工・受注単価等)	1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下	1.上昇	2.やや上昇	3.不変	4.やや低下	5.低下
ハ. 資金繰り	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化
ニ. 借入難度(含手形割引)	1.容易	2.やや容易	3.不変	4.やや困難	5.困難	1.容易	2.やや容易	3.不変	4.やや困難	5.困難
ホ. 収益状況(経常利益)	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化
ヘ. 雇用人員(人手)	1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足	1.過剰	2.やや過剰	3.適正	4.やや不足	5.不足
ト. 貴社の業況判断	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化	1.好転	2.やや好転	3.不変	4.やや悪化	5.悪化

<質問2> 今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

01 大手(大企業・大型店等)の進出による競争の激化 02 同業者の進出・新規参入業者の増加による競争の激化(大手以外) 03 既存同業者間による競争の激化 04 店舗・工場(生産設備)・倉庫の不足・老朽化 05 店舗・工場(生産設備)・倉庫の過剰 06 在庫(商品・製品等)の過剰 07 人件費等経費の増加 08 販売単価(商品・製品等)、受注単価の低下・上昇難 09 仕入価格の上昇(商品・原材料等) 10 消費・需要の停滞(民間・官公庁) 11 消費者(製品)ニーズの変化への対応 12 過剰労働力 13 従業員の不足・確保難	14 熟練技術者・技能者の確保難 15 外注・下請け単価の上昇 16 外注・下請け業者の確保難 17 金利負担の増加 18 事業資金の借入難 19 新分野進出等新規事業展開について 20 売上が増えない 21 合理化が進まない 22 利益率が上がらない 23 原材料不足 24 代金回収条件悪化 25 資金繰り困難 26 その他:具体的に ( )	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">回答欄</th></tr> <tr><td style="width: 10%;">1位</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>2位</td><td></td></tr> <tr><td>3位</td><td></td></tr> </table>	回答欄		1位		2位		3位	
回答欄										
1位										
2位										
3位										

<質問3> 貴社が現在(今後)進めている(いく)経営改善対策について、重要なものから順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

01 売上高増加策(販売高、製品出荷高、完成工事高等) 02 販売単価上昇策 03 市場競争力強化策 04 適正な生産(販売)設備配置策 05 適正人員確保策(雇用、整理) 06 経費削減策 07 資金繰り円滑化策(金融) 08 利益率向上策	09 在庫調整策 10 仕入単価圧縮策 11 人材育成策 12 広告宣伝強化策 13 新商品、新製品開発 14 新分野事業展開 15 その他:具体的に ( )	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">回答欄</th></tr> <tr><td style="width: 10%;">1位</td><td style="width: 10%;"></td></tr> <tr><td>2位</td><td></td></tr> <tr><td>3位</td><td></td></tr> </table>	回答欄		1位		2位		3位	
回答欄										
1位										
2位										
3位										

<質問4> 新卒者・既卒者の23年度採用状況(4月時点)および採用予定について該当する番号を回答欄へご記入ください。

01 採用した(人数をご記入下さい:新卒 人 既卒 人)      02 採用していない・採用予定なし 03 今年度中に採用予定あり(人数をご記入下さい: 人)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th colspan="2">回答欄</th></tr> <tr><td style="width: 10%;"></td><td style="width: 10%;"></td></tr> </table>	回答欄			
回答欄					

<質問5> 東日本大震災による生産・販売等事業活動への影響について該当する番号を回答欄へご記入ください。

[現時点での影響] 01 あった(ある) 02 なかった(ない) 03 分からない	具体的にご記入下さい ⇒
[今後の影響] 01 大きな影響が予想される 02 少なからず影響が予想される 03 あまり影響はないと思う 04 現段階では分からない	具体的にご記入下さい ⇒

ご協力ありがとうございました。